

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価報告書

南富良野町教育委員会

～ 目 次 ～

1	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について・・・	1
2	教育委員会会議等の開催状況	2～3
3	教育長及び教育委員の主な活動状況	4～8
4	児童生徒の活動状況（部活動等）	9～12
5	教育行政執行方針の概要	13～14
6	教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事業一覧	15～16
7	事務・事業等の点検・評価の方法	17
8	事務・事業点検・評価シート	18～41
9	前年度点検・評価対象事務・事業の状況	42～44
10	学識経験者	45
11	教育委員会の組織	46

1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

(1) 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、同法第 26 条の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

(2) 点検及び評価の対象

令和元年度の「教育行政執行方針」に基づき教育委員会が実施した主な事務・事業を対象として、自己点検及び自己評価を行います。

又、教育委員会や各種審議会の会議の開催状況や教育委員の活動状況、児童生徒の部活動等における活動状況なども報告しています。

(3) 点検及び評価の方法

(ア) 点検及び評価の観点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、事務・事業等については、事業の実績や成果等から達成度及び効果度に着目して評価し、そのうえで総合評価を行い、課題等を踏まえ、今後の取組の方向性や方策等を明らかにしています。

(イ) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や事務・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

2 教育委員会会議等の開催状況

令和元年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員会会議開催状況

①教育委員会会議

区 分	期 日	付 議 事 件
第4回	令和元年5月30日	・令和元年度教育費補正予算（第1号）について ・令和元年度要保護準要保護児童生徒の認定について
第5回	令和元年6月28日	・南富良野高等学校教職員の人事について ・教育委員会事務局職員の人事について
第6回	令和元年8月28日	・令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択について ・令和2年度から使用する中学校用教科用図書の採択について ・所管施設設置条例の一部を改正する条例の制定について ・平成30年度教育行政評価報告書の提出について
第7回	令和元年9月30日	・教育委員会事務局の人事について ・南富良野町働き方アクションプランについて
第8回	令和元年11月14日	・教育長職務代理者の指名について ・南富良野高等学校教職員の人事について
第9回	令和元年12月4日	・令和元年度教育費の補正予算（第2号）について ・南富良野高等学校教職員の人事について
第1回	令和2年2月27日	・令和2年度要保護準要保護児童生徒（新入学・中学校修学旅行分）の認定について ・令和元年度教育費の補正予算（第3号）について ・令和2年度教育費等の予算について
第2回	令和2年3月27日	・教職員人事異動について ・教育委員会の人事について ・南富良野高等学校教職員の人事について ・南富良野町学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

教育委員会会議は、月1回程度開催することとしておりますが、令和元年度は8回を開催し、教育に関する様々な案件について検討し、議論・議決を行いました。

会議については教育委員会の合議制の観点から全ての委員が出席した中で各種議題の審議を行うよう開催日時の調整に努めます。

今後においても、教育を取り巻く課題等に対応した施策の推進に向けて、十分な議論や審議を行っていく必要があると考えています。

2 教育委員会会議等の開催状況

(2) 各種委員会等開催状況

①南富良野町総合教育会議

区 分	期 日	協 議 事 項
特に協議事項なく開催なし。		

②いじめ対策協議会

区 分	期 日	協 議 事 項
開催見送り		

③社会教育委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
開催見送り		

④スポーツ推進委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
開催見送り		

⑤文化財審議会

区 分	期 日	協 議 事 項
第1回	令和元年9月27日	・町内史跡めぐり ・歴史的建造物の選定及び指定について

教育委員会に設置している主な審議機関等では、それぞれの分野における議題について審議をしてきております。しかしながら、令和元年度は年度末時期に開催を予定しておりました会議が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を見送ることとなりました。

今後は、各審議機関等において定期的な開催により審議を深め、南富良野町の教育の推進を図っていくよう努めてまいります。

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

令和元年度における教育長及び教育委員の主な活動状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員の活動実績

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 31 年 4 月 2 日	平成 31 年度教職員辞令交付式及び着任式	役場大会議室
平成 31 年 4 月 5 日	南富良野小学校入学式	南富良野小学校
	南富良野西小学校入学式	南富良野西小学校
	南富良野中学校入学式	南富良野中学校
	南富良野町婦人団体連絡協議会総会	情報プラザ
平成 31 年 4 月 8 日	南富良野高等学校入学式	南富良野高等学校
平成 31 年 4 月 11 日	千里大学始業式	保健福祉センター
平成 31 年 4 月 12 日	上川管内教育委員会教育長会議	旭川市
平成 31 年 4 月 22 日	北海道公民館協会定期総会	札幌市
平成 31 年 4 月 25 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市
令和元年 5 月 7 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
令和元年 5 月 13 日	学校経営指導訪問	南富良野小学校 南富良野中学校
令和元年 5 月 14 日	南富良野町文化協会総会	情報プラザ
令和元年 5 月 21 日	自治会代表者会議	保健福祉センター
令和元年 5 月 23 日	町村立高等学校自治体連絡協議会総会	札幌市
令和元年 5 月 25 日	南富良野中学校体育祭	南富良野中学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
令和元年年 5 月 30 日	教育委員学校訪問	町内各学校
令和元年 6 月 2 日	南富良野小学校運動会	南富良野小学校
令和元年 6 月 8 日	北海道公立文教施設整備期成会定期総会	札幌市
令和元年 6 月 8 日	中体連陸上競技大会	旭川市
令和元年 6 月 9 日	南富良野西小学校運動会	南富良野西小学校
令和元年 6 月 10 日	第 6 地区教科用図書採択協議会	旭川市
令和元年 6 月 11 日	学校経営指導訪問	南富良野西小学校
令和元年 6 月 21・22 日	富良野地区中体連球技大会	富良野市他
令和元年 7 月 4 日	学校課題研修会	役場大会議室
令和元年 7 月 6 日	大乘会スポレク交流会	町民体育館
令和元年 7 月 6 日	南富良野高等学校学校祭	南富良野高等学校
令和元年 7 月 8 日	上川管内いじめ問題等対策連絡協議会	旭川市
令和元年 7 月 9・10 日	上川管内教育委員会教育長会議	旭川市
令和元年 7 月 10・11 日	第 56 回北海道市町村教育委員研修会	札幌市
令和元年 7 月 11 日	札幌交響楽団南富良野公演	南富良野高等学校
令和元年 7 月 22 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
令和元年 7 月 27・28 日	かなやま湖湖水まつり	キャンプ場
令和元年 7 月 30 日 ～8 月 1 日	子ども朝活事業	町民体育館
令和元年 8 月 2・3 日	教員採用試験面接	旭川市
令和元年 8 月 29 日	福祉スポーツ大会	町民体育館
令和元年 8 月 30 日	1 日防災学校	南富良野西小学校
令和元年 8 月 31 日	1 日防災学校及び防災教育講演会	南富良野中学校
令和元年 9 月 7 日	大乘会ふれあいフェスタ	保健福祉センター
令和元年 9 月 8 日	南富良野中学校学校祭	南富良野中学校
令和元年 9 月 30 日	町 P T A 連合会研修会	情報プラザ
令和元年年 10 月 3 日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
令和元年 10 月 10 日	上川管内教育長会議	比布町
令和元年 10 月 11 日	教育委員・校長会合同研修会	役場中会議室
令和元年 10 月 18 日	防犯と交通安全の作品審査会	役場大会議室
令和元年 10 月 19 日	南富良野小学校学芸会	南富良野小学校
令和元年 10 月 23 日	全道公民館協会研修会	札幌市
令和元年 10 月 25 日	全道教育長会議	札幌市
令和元年 10 月 29 日	上川管内教育委員研修会	東神楽町
令和元年 11 月 3 日	南富良野町表彰式及び文化協会発表会	保健福祉センター
令和元年 11 月 9 日	南富良野西小学校学芸会	南富良野西小学校
令和元年 11 月 14 日	バイキング給食 巡回小劇場	町民体育館 南富良野小学校
令和元年 11 月 20 日	広域連合総合教育会議	富良野市
令和元年 11 月 23 日	防犯と交通安全の住民集会	保健福祉センター

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
令和元年 11 月 23 日	日本ハム野球教室	南富良野高等学校
令和元年 11 月 26 日	東京ふらの会	東京都
令和元年 11 月 29 日	南富良野西小学校地域参観日	南富良野西小学校
令和元年 11 月 30 日	ジュニアカーリング選手権大会	空知川スポーツリンクス
令和元年 12 月 4 日	教育委員学校訪問	町内各学校
令和元年 12 月 7 日	第 14 回南富良野町社会福祉大会	保健福祉センター
令和元年 12 月 8 日	町子ども会連合会スポーツ交流会	空知川スポーツリンクス
令和元年 12 月 10 日	特別支援教育連絡協議会	南富良野中学校
令和元年 12 月 16 日	スキー場安全祈願祭	南ふらのスキー場
令和元年 12 月 24 日	教育支援委員会	役場大会議室
令和元年 12 月 26 日～ 12 月 27 日	子ども朝活事業	南富良野小学校
令和 2 年 1 月 4 日	消防出初式	保健福祉センター
令和 2 年 1 月 12 日	成人式	保健福祉センター
令和 2 年 1 月 17 日	社会科副読本編集委員会	保健福祉センター
令和 2 年 2 月 6 日	広域連合教育委員会	富良野市
令和 2 年 2 月 19 日	上川南部教育委員研修会	中富良野町
令和 2 年 3 月 2 日	南富良野高等学校卒業式	南富良野高等学校
令和 2 年 3 月 13 日	南富良野中学校卒業式	南富良野中学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
令和 2 年 3 月 19 日	南富良野西小学校卒業式	南富良野西小学校
令和 2 年 3 月 19 日	南富良野小学校卒業式	南富良野小学校
令和 2 年 3 月 26 日	千里大学卒業式	保健福祉センター
令和 2 年 3 月 27 日	令和元年度教職員退職辞令交付式及び 教職員離任式	保健福祉センター

教育委員会には、地域全体の教育、学術、文化、スポーツの振興を図るという社会的な使命があり、総合的な視点に立って活動していく必要があります。

教育委員は、会議における審議以外に教育現場を訪問することや、各種行事や研修会等に参加することで、教育現場の状況の把握及び教育委員としての能力向上に努めています。

今後も教育現場の訪問や研修会等に積極的に参加し、教育に関する課題の把握に努め教育委員会に期待される役割、機能を十分果たしていくよう活動して参ります。

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

令和元年度における児童生徒の部活動等における活動状況は、次のとおりです。

(1) 少年団活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野球 スポーツ少年団	16人	○留萌セントラルクリニック杯 ○スポーツショップ MINO 杯少年野球大会 ○全日本学童野球大会富良野支部予選会 ○全道少年軟式野球富良野支部大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜上川支部大会 ○富良野沿線少年野球リーグ戦 ○富士スポーツ杯富良野沿線少年野球大会 ○トップボール杯争奪少年野球大会 ○富良野沿線少年野球新人戦
バレーボール スポーツ少年団	10人	○全日本バレーボール小学生大会富良野地区予選 ○富士スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○三野スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○道新カップバレーボール大会富良野地区予選会 ○ふかがわカップ全道小学校バレーボール優勝大会 ○富良野地区小学生バレーボール大会 ○富良野市スポーツ少年団本部小学生バレーボール大会 ○Kスポーツ杯富良野地区小学生バレーボール大会 ○南富良野排球連盟会長杯バレーボール大会
カーリング スポーツ少年団	19人	○ゆっくみなみふらのカップカーリング大会 ○道新杯北海道ジュニアカーリング大会 ○道央ブロックジュニアカーリング選手権大会
スキー スポーツ少年団	14人	○糠平SL・GS ○ハウスカップ旭川予選 ○道新杯 ○ふらのスキー祭りGS ○日高岳GS ○テイネSL ○連盟会長杯兼セルジュラング杯 ○朝里SL・GS ○テイネGS

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

(2) 南富良野中学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野 球 部	6 人	○富良野沿線中学軟式野球大会 ○全日本少年軟式野球支部大会 ○富良野連盟会長杯少年野球大会 ○地区中体連軟式野球大会 ○ロータリークラブ杯中学野球大会 ○全日本少年秋季軟式野球富良野支部予選 ○富良野沿線中学軟式野球新人戦
卓 球 部	9 人	○富良野沿線春季卓球大会 ○道新杯争奪卓球大会 ○地区中体連卓球大会 ○ニッタク杯争奪卓球大会 ○北海道卓球選手権大会（カデットの部） ○会長杯争奪卓球大会 ○沿線中学新人戦兼 VICTAS 杯卓球大会 ○かわむら杯争奪卓球大会 ○金井杯争奪卓球大会 ○友愛杯争奪卓球大会
ソフトテニス部	15 人	○春季富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○ヨネックス杯中学生ソフトテニス大会 ○北海道中学選手権ソフトテニス大会 ○地区中体連ソフトテニス大会 ○上川管内代表決定戦ソフトテニス大会 ○ヨネックス杯北海道中学生ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス新人戦 ○富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 ○中学校指導者協議会杯中学生インドアソフトテニス大会 ○インドアソフトテニス大会上川代表決定戦 ○富良野地区中学生インドアソフトテニス研修大会

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

バレー部	1人	○協会杯バレーボール大会 ○くまげら杯中学校親睦バレーボール大会 ○地区中体連バレーボール大会 ○富良野地区Vリーグ ○体育の日記念バレーボール大会 ○富良野地区中学校新人戦バレーボール大会 ○ALL KAMIKAWA 中学バレーボール大会 ○富良野地区選抜バレーボール大会 ○minosportcup 中学校バレーボール大会 ○富士スポーツ杯中中学生親睦バレーボール大会
吹奏楽部	5人	○旭川吹奏楽祭 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○富良野地区吹奏楽祭
陸上部(季節部)	4人	○地区中学校陸上競技大会
スキー部(季節部)	2人	○地区中体連スキーアルペン大会 ○北海道中学校スキー大会アルペン競技

(3) 南富良野高等学校部活動

クラブ名等	所属人数	活動状況
バトミントン部	13人	○高体連予選 ○新人戦予選
卓球部	10人	○高体連予選 ○新人戦予選 ○国体道予選
カヌー部	11人	○高体連全国大会 ○国体全国大会 ○道カヌースプリント短距離選手権大会
スキー部(季節部)	2人	○高体連全国大会(クロスカントリー・アルペン)
カーリング部	10人	○道央ブロックジュニア大会 ○全道高校選手権大会 ○全国高校選手権大会 ○南富良野ジュニア大会
吹奏楽部	8人	○学校祭における発表 ○高文連上川支部音楽発表大会

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

		○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○オータムコンサート ○富良野地区吹奏楽祭
資格取得部	11人	○日本語ワープロ検定 ○全経簿記能力検定 ○情報処理技能検定 ○プレゼンテーション作成検定 ○硬筆書写技能検定 ○実用英語検定 ○漢字能力検定 ○語彙・読解力検定 ○数学技能検定

(4) 部活動等の活動状況について

教育委員会としては、児童生徒の体力の向上及び運動能力の増進並びに文化活動の助長を図ることを目的として少年団活動に対する補助金の交付や中学校及び高等学校における部活動に対する財政的支援を行っております。

今後も、児童生徒が健康で明るく活気に満ちた生活を送ることのできる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えており、引き続き体育・文化活動に対する支援を行って参ります。

5 教育行政執行方針の概要

令和元年度の南富良野町教育行政執行方針では、分野ごとの基本目標を示しています。

●基本理念

○学校教育

- ・変化の激しいこれからの社会を生きるためには、たくましく「生きる力」を育成するという理念のもと、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の調和のとれた子どもの育成を図るため、家庭や地域との連携を深めながら、豊かな学びを創り出す教育活動の推進

○生涯学習

- ・本町に住む人たちが心豊かに健やかに生きがいを実感できるよう、各世代に応じた生涯学習と活躍できる機会の創出

（1）学校教育関係

①確かな学力を育む教育の推進

1）学力向上に向けた取組

- ・家庭学習の習慣化、一人学習ノートの実践
- ・個別指導学習による子に応じた指導の充実
- ・メディア等に触れる時間のルールづくりの促進
- ・ICT機器の活用や土曜授業の継続
- ・習熟度別学習などのきめ細かな指導
- ・小中高連携の取組推進

2）教師力の向上

- ・授業力向上に向けた講習会の開催
- ・道内モデル校への視察研修
- ・指導力向上のための研鑽

3）中学生を対象とした、英語・数学・漢字検定に対する支援

4）複式学級におけるきめ細かな指導

5）各学校での工夫された読書活動の展開

②豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

1）体力づくりの充実

2）運動習慣づくり

3）ネットモラルの指導徹底

4）スクールカウンセラーによる支援の継続

5）いじめ根絶に向けた取組

③信頼される学校づくりの推進

1）地域とともにある学校づくり

2）避難訓練などの計画的な実施

5 教育行政執行方針の概要

- 3) 交通安全や防犯意識の向上
- 4) 北海道と連携した「1日防災学校」の実施
- 5) 学校体育館非構造部材の改修
- 6) 安全で安心な給食の提供
- (2) 南富良野高等学校
 - 1) 進路に応じた教育活動を実践
 - 2) 地域の特色を生かした学校づくり
 - 3) 補助や助成などの継続
 - 4) 部活動における中高連携事業の充実
 - 5) 魅力づくりを推進し振興策や学校のあり方等の検証
- (3) 生涯学習・社会教育
 - 1) 少年教育
 - ・体験活動の場を提供
 - ・沖縄県本部町親善交流事業
 - ・小中学生を対象とした芸術鑑賞の機会の提供
 - 2) 青年教育
 - ・活動機会の提供
 - 3) 成年教育
 - ・婦人団体と連携した取組と活動支援
 - ・千里大学
 - 4) 芸術文化活動
 - ・主体的な文化活動の支援
 - ・芸術文化に触れる機会を提供
 - ・本にふれあう機会の充実
 - 5) 公民館
 - ・事業推進、教養向上及び健康増進
 - 6) 文化財
 - ・町の歴史的建造物や文化遺産などを知る機会を提供
 - ・「イトウ」による環境学習
 - 7) 家庭教育
 - ・子ども朝活事業「南ブ塾」を開催
 - ・生活習慣を考える機会の提供
 - 8) 体育・スポーツの振興
 - ・関係団体との協働
 - ・アスリート補助金
 - ・スポーツ少年団

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

令和元年度の南富良野町教育行政執行方針で示された分野ごとの事業目標に基づき実施した次の事務・事業を点検・評価の対象としています。

番号	事業区分	事業名・事業目標
1	学校教育	確かな学力
1-1	学校教育	学力向上に向けた取組
①	学校教育	家庭学習の習慣化・一人学習のノートの取組み
②	学校教育	個別補充学習による子に応じた指導の充実
③	学校教育	メディア等に触れる時間のルールづくりの推進
④	学校教育	ICT機器の活用や土曜授業の継続
⑤	学校教育	習熟度別学習などのきめ細かな指導
⑥	学校教育	小中高連携の取組を推進
1-2	学校教育	教師力向上
①	学校教育	授業力向上に向けた講習会の開催
②	学校教育	道内モデル校への視察研修
③	学校教育	指導力向上のための研鑽
1-3	学校教育	中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援
1-4	学校教育	複式学級におけるきめ細かな指導
1-5	学校教育	工夫された読書活動
2	学校教育	豊かな心と健やかな体
2-1	学校教育	体力づくりの充実
2-2	学校教育	運動習慣づくり
2-3	学校教育	ネットモラルの指導徹底
2-4	学校教育	スクールカウンセラーによる支援継続
2-5	学校教育	いじめ根絶に向けた取組
3	学校教育	信頼される学校
3-1	学校教育	地域とともにある学校づくり
3-2	学校教育	避難訓練などの計画的な実施
3-3	学校教育	交通安全や防犯意識の向上
3-4	学校教育	北海道と連携した「1日防災学校」の実施
3-5	学校教育	学校体育館非構造物部材の改修
3-6	学校教育	安全で安心な給食の提供

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

番号	事業区分	事業名・事業目標
4	高等学校	高等教育
4-1	高等学校	進路に応じた教育活動の実施
4-2	高等学校	地域の特色を活かした学校づくり
4-3	高等学校	補助や助成などの継続
4-4	高等学校	部活動における中高連携事業の充実
4-5	高等学校	魅力づくりの推進、振興策や学校のあり方等の検証
5	生涯学習	少年教育
5-1	生涯学習	体験活動の場の提供
5-2	生涯学習	本部町親善交流事業
5-3	生涯学習	小中学生の芸術鑑賞機会の提供
6	生涯学習	青年教育
6-1	生涯学習	活動機会の提供
7	生涯学習	成年教育
7-1	生涯学習	婦人団体と連携した取組と活動支援
7-2	生涯学習	千里大学
8	生涯学習	芸術文化
8-1	生涯学習	主体的な文化活動の支援
8-2	生涯学習	芸術文化に触れる機会の提供
8-3	生涯学習	本にふれあう機会の充実
9	生涯学習	公民館
9-1	生涯学習	事業推進、教養向上及び健康増進
10	生涯学習	文化財
10-1	生涯学習	町の歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供
10-2	生涯学習	イトウによる環境学習
11	生涯学習	家庭教育
11-1	生涯学習	子ども朝活事業
11-2	生涯学習	生活習慣を考える機会の提供
12	生涯学習	体育スポーツ振興
12-1	生涯学習	関係団体との協働
12-2	生涯学習	アスリート補助金
12-3	生涯学習	スポーツ少年団

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

7 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

教育行政執行方針に位置付けられて実施した主な 45 の事務・事業等について、事務事業点検評価シートにより「事業名」、「事業目標」の「事務事業実施状況」、「事務事業評価」により課題等を明らかにし、「達成度・効果度・総合」の評価を行います。その後、評価委員の意見を聴取し、「今後の方向性及びその方策等」をまとめ、今後の方向性を見出します。

(1) 評価基準

①達成度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	実践が進み成果を上げている	実践が進んでいる	実践に努めている	努力を要する

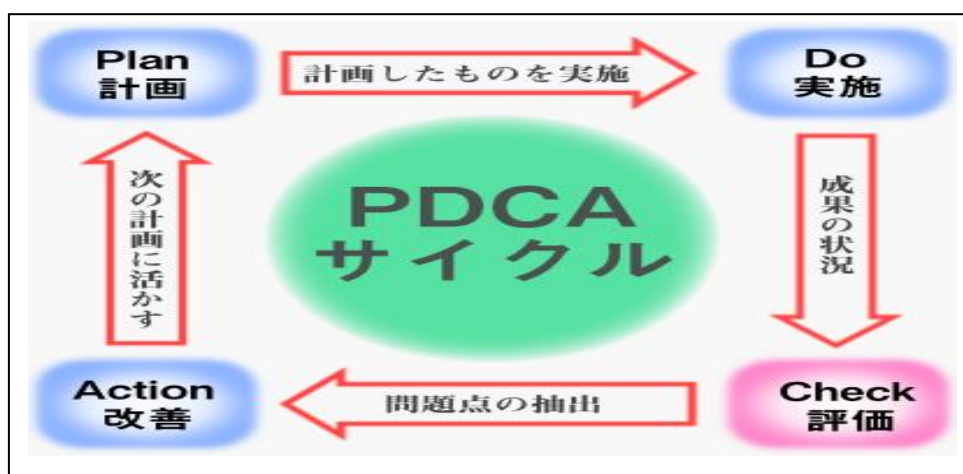
②効果度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	期待どおりの効果が得られた	効果度が比較的高い	効果度が比較的低い	ほとんど（全く）効果が得られない

③総合評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	高い成果を上げている	成果を上げている	実践に努めている	努力を要する

④事業改善に向けた方法



事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(家庭学習の習慣化・一人学習ノートの取組み)				

2 事業実施状況

家庭学習時間の目標を「10分×学年＋10分」と設定し、一人学習ノートを活用しながら学習習慣の定着を図った。

3 事務事業の評価

まだ、全児童生徒とはいかないものの、少しずつ定着している。 「定着率＝南小50％・西小16％・南中70％」	評価委員 の意見	家庭の協力が不可欠であるため、保護者に趣旨を理解させながら進めていく必要がある。				
	達成度	B	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

定着させるために継続して取り組むものとする。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(個別補充学習による子に応じた指導の充実)				

2 事業実施状況

加配教諭の配置及び学習支援員も活用し、始業前及び放課後等に個別の補充学習を実施し、基礎基本の確実な定着を図った。

3 事務事業の評価

学習意欲の向上につながっているとともに、子に応じた指導の充実が図られた。	評価委員 の意見	学校と家庭との連携を図りながら、継続して取り組んで欲しい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

個別補充学習による学習意欲の向上、基礎基本の定着を図るため継続した取組みを実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(メディアに触れる時間のルールづくりの推進)				

2 事業実施状況

アンケート等において、本町児童生徒はメディアに触れる時間が多い結果となっていることから、本町では1日2時間以内やノーゲーム日を推奨し、家庭学習課題を出すほか、参観日等における家庭への協力をお願いしている。

3 事務事業の評価

意識付けや家庭の協力等により触れる時間の減少傾向は見られるが、十分なものとはなっていない。	評価委員の意見	学校と家庭との連携を図りながら、継続して取り組んで欲しい。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

家庭との連携協力が必要であり、全体に浸透するには時間を要するため今後も継続した取組が必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-④	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(ICT機器の活用や土曜授業の継続)				

2 事業実施状況

タブレット式パソコンについては、平成28・29年に更新しており、コンピュータ室にて各学年が活用している。土曜授業は、小学校では10回、中学校では5回予定し、特別授業のみではなく通常授業についても実施した。しかしながら、年度末より新型コロナウイルスによる臨時休校としたことから、一部実施できなかった。

3 事務事業の評価

タブレットパソコンについては、今後プログラミング教育等、より高度な内容について取組が必要ことから、指導教諭のスキルアップが必要である。土曜授業については、授業時間の確保等有効である。地域や父母にも理解されている。	評価委員の意見	今後も継続した取組を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

国のGIGAスクール事業の活用等により、1人1台のタブレットパソコンの導入と学校通信環境の改善が必要であるとともに、今回の新型コロナウイルス等による臨時休校時に対応できる、オンライン授業の確立が急務である。 土曜授業は今後も継続して実施するが、授業内容等についてより効果のあるものとするよう検討する必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-⑤	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(習熟度別学習などのきめ細かな指導)				

2 事業実施状況

TT指導や少人数指導など、授業形態の工夫を図り、一人一人の能力・適性に応じた個性を生かす活動に努め、確かな学力づくりを図った。

3 事務事業の評価

学習意欲の向上につながっていると同時に、確かな学力づくりが図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

個性を生かした活動の実施により学習意欲の向上、基礎基本の定着を図るため継続した取組みを実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-⑥	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	学力向上に向けた取組(小中高連携の取組を推進)				

2 事業実施状況

小中高連携教育推進基本計画に基づき、取組の推進を図った。
学力向上モデルの統一、授業力向上に向けた講習会の小中高統一講師を派遣、英語教育の乗り入れの検討など。

3 事務事業の評価

小中高全体で取り組んでおり連携体制の確立が図られている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後とも連携を強化するとともに、英語授業のように新たな連携内容についても模索していく必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-2-①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	教師力向上(授業力向上に向けた講習会の開催)				

2 事業実施状況

町教育研究会及び小中高連携協議会にて学力向上講習(講師:西留康夫氏)を招聘し、各学校2回実施し、授業助言・講演を実施した。

3 事務事業の評価

教職員で全体化できたことや、継続した指導を受けることができたことは良かった。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

実践し検証することで、教師力向上につなげる必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-2-②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	教師力向上(道内モデル校への視察研修)				

2 事業実施状況

町教育研究会において各校より2名程度の参加により、先進校である北海道教育大学附属小中学校の視察研修を行った。

3 事務事業の評価

先進校への視察研修により見聞を高め、教職員全体の教師力向上の一助となった。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	B	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

視察研修者のみにならないよう、教職員全体で生かしていくような活動が必要。又、今後は実践を通して教師力向上につなげることが重要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-2-③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	教師力向上(指導力向上のための研鑽)				

2 事業実施状況

北海道教育委員会・上川教育局等が主催する各種研修会への参加を促すとともに、教育研究会及びへき地複式教育連盟等における研究大会を実施

3 事務事業の評価

各種研修会を通じ、指導力向上に向けた研鑽を積むことができた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後も継続して、指導力向上に向け実践・検証を行いながら取組むことが必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名(目標)	中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援				

2 事業実施状況

学習意欲の構造を図ることを目的に「英語・数学・漢字検定」試験の費用負担を行った。各教科各級2回不合格でなければ受検できるよう、子どもたちの可能性及び学びの自主性を図った。

3 事務事業の評価

中学生の積極的な検定受験が行われ、学習意欲の向上が図られた。	評価委員 の意見	今後も継続した継続を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

積極的な受検により学習意欲の向上があるので、継続した実施が必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名（目標）	複式学級におけるきめ細かな指導				

2 事業実施状況

南富良野西小学校は複式学級のみであり、1教室内に2つの黒板を設置、教員の指導力の向上を図りながら、各学年に応じた授業内容を実施している。又、南富良野小学校は令和元年度より複式学級が設置されたので、移動式黒板の設置、加配教諭による各学年ごとの授業等、教科等によりきめ細かな対応を行った。

3 事務事業の評価

各学年に沿った、きめ細かな学習を実施することができた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

複式学級においても、教員の指導力を図りながら各学年に沿った学習の提供を継続して実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名（目標）	工夫された読書活動の展開				

2 事業実施状況

朝読書や長期休業中の貸出、校内読書月間を活用し習慣化を促した。又、地域人材を活用した読み聞かせ会等を通して読書活動を推進した。
読書週間の効果を学校だより・学級通信・授業等で児童生徒、家庭、地域へ啓蒙した。

3 事務事業の評価

各学校における読書推進活動により、読書週間の定着が図られた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

継続的な読書活動により、思考力・判断力・表現力等の向上、更には語彙力の増加で、コミュニケーション力の向上を図ることができるため、継続して実施する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事業名（目標）	体力づくりの充実				

2 事業実施状況

例年、文部科学省が実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」に取り組み、その結果を踏まえ課題に合わせた取組を実施している。

3 事務事業の評価

昨年度は全国平均を上回る結果となった種目が多かったが、持久力等一部下回った種目もあることから、引き続き継続した体力づくりの取組が必要。	評価委員 の意見	今後も継続した取組を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

個々の能力等を把握しながら、苦手な種目の継続的な取組みや、日常的な運動の取入れによる体力の向上を進める必要がある。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事業名（目標）	運動習慣づくり				

2 事業実施状況

体力向上プランや運動記録カードの作成や個々の目標の設定による意欲の向上。又、カヌー・カーリング・スキーなど町の特色を活かし、楽しく運動できる授業の実施、タブレットの活用などによる体育の授業及び運動への意欲向上、休み時間に気軽に体力・運動能力の種目を体験できる環境づくりを図っている。

3 事務事業の評価

全国体力・運動テストの結果は良かったものの、今後も継続した取組を実施することにより、意欲向上を図り定着させる必要がある。	評価委員 の意見	記録カードについては児童自身が目標を設定し取り組んでおり、意欲向上につながっている。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

運動習慣の定着及び意欲向上に向け、継続して取り組むものとする。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事業名(目標)	ネットモラルの指導徹底				

2 事業実施状況

メディアに触れる時間を1日2時間以内を目標とするほか、ノーゲームディの推奨などを昨年より継続して取り組んだ。
また、ケータイ・スマホ安全教室を開催した。

3 事務事業の評価

メディアに触れる時間については、家庭学習時間を学年ごとに設定するなどして対応し一定の成果は上げたが、2時間を切るまでにはいかなかった。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

継続した取組みを実施するとともに、各家庭での協力体制の確立に向けた取組みが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事業名(目標)	スクールカウンセラーによる支援継続				

2 事業実施状況

南富良野中学校を配置校として、北海道より派遣され実施しており、不登校生徒及び保護者の相談を行った。
また、各小学校についても必要に応じて派遣し支援を行った。

3 事務事業の評価

不登校及び不登校気味の生徒や親もスクールカウンセラーとの面談はできており、登校に向け改善が見られた。	評価委員 の意見	デリケートな問題であり、各学校と連携しながら、適切な時期に派遣できるよう進めていただきたい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

中学校では不登校生徒がいる限り継続して相談対応を確立する必要がある。 また、小学校においても相談したい状況があることから、派遣を継続する。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
事業名（目標）	いじめ根絶に向けた取組				

2 事業実施状況

道が実施している「いじめに関する調査」による実態の把握を行うとともに、各学校でもアンケート等を実施している。
情報の共有を図ることによる未然防止に向けて取り組んでいる。
なお、町の「いじめ防止対策協議会」が実施できず今後の課題である。

3 事務事業の評価

調査やアンケートでは、各学校でのいじめの発生はなかった。町全体としての会議が開催できず、もっと広く情報を把握し早期の発見に心がける必要がある。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

調査やアンケートを継続して実施するとともに、広く情報を把握し早期に対応できる体制を確立する必要があるため、「いじめ対策協議会」を開催し方策等を議論する場が必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	地域とともにある学校づくり				

2 事業実施状況

小中学校全てにコミュニティスクール（学校運営協議会）を導入し、経営方針の承認を始め定期的な会議を開催した。
学校内行事への協力及び地域との連携を図った。

3 事務事業の評価

地域、保護者、学校が一体となり学校運営を行うことができ、いろんな意見と取り入れ新しい取組みが少しずつ実施できた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

引き続き、「地域とともにある学校づくり」を目指し取り組む。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	避難訓練などの計画的な実施				

2 事業実施状況

各学校において、関係機関の協力を得て複数回実施し、避難時における経路や火災・地震等の災害時における対応について訓練した。
意識高揚や基本的行動の定着を図った。

3 事務事業の評価

防災意識の高揚や基本的行動について定着している。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後の生活の中で継続した意識が必要であるため、継続して取組むことにより生きる力の醸成が図られる。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	交通安全や防犯意識の向上				

2 事業実施状況

各学校ではCSとの連携による、登校時の見守りや交通安全指導を実施、警察等との連携による防犯や交通安全の講話等を実施するとともに、町交通安全及び防犯協会で実施している「標語・ポスター・作文」の作品に応募し、意識向上を図った。

3 事務事業の評価

交通安全及び防犯に対する意識高揚が図られた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

子どもたちの安全性の確保につながることから、継続した取組みが必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	北海道と連携した「1日防災学校」の実施				

2 事業実施状況

道（危機対策課）及び町防災安全推進室と連携し、各小中学校全体で「1日防災学校」を実施した。
 ・南富良野西小学校－8月30日（町内危険箇所の確認や避難所食の試食等）
 ・南富良野小学校－8月31日（避難訓練「中学校へ」、避難所食や新聞スリッパの作成）
 ・南富良野中学校－8月31日（避難所運営訓練）

3 事務事業の評価

防災意識の高揚が図られたとともに、災害時の対応など知識の向上が図られた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

意識が薄れることのないよう、継続した取組を行い、災害時等における自己防衛等、生きる力の醸成が必要である。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-5	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	学校体育館非構造物部材の改修				

2 事業実施状況

各学校体育館のバスケットボールゴール撤去及び壁設置スピーカーの補強を行い、安全性の確保を行った。

3 事務事業の評価

安全性の確保が図られた。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

現在の施設においては、非構造物部材の改修は終了した。 今後、国等の基準改訂に注視し、安全の確保を図るものとする。	方向性
	終了

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-6	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
事業名（目標）	安全で安心な給食の提供				

2 事業実施状況

食中毒の防止、従事者の衛生管理の徹底、アレルギーの把握と対応に努め、安全で安心な給食の提供を行った。地場産品の食材を積極的に取り入れるとともに、栄養教諭による食育指導等の充実を図った。

3 事務事業の評価

食中毒の発生、従事者の伝染病等の発生なく、安全な給食の提供ができた。 地場産品の食材の取入れ、食育指導等についてはバイキング給食等の実施及び栄養教諭の学校への訪問等により行った。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

引き続き安全で安心な給食の提供を行うとともに、栄養教諭による食育指導の充実を図る。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-1	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事業名（目標）	進路に応じた教育活動の実践				

2 事業実施状況

一人ひとりの進路に応じた教育活動を実施するため、数学・英語の授業では類型別・習熟度授業を実施するとともに、大学進学希望者については、新たにeラーニングによる授業外学習を導入した。
併せて、介護職員初任者研修をはじめとした各種資格取得検定料や公務員模試受験料の助成、大学進学希望者に対しては大学模試受験料の助成を行った。

3 事務事業の評価

類型別授業により生徒の進路目標に対応した効果的な学習、eラーニングによる授業外学習の定着、各種検定料・模試受験料等の助成により、学力向上と進学意欲の高揚に繋がった。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

類型別のほか習熟度にあった指導を強化するとともに、生徒一人に1台のタブレットの配置、eラーニングによる授業外学習を全生徒に拡大することにより、学習意欲の向上や苦手科目の克服を図り、進路実現に向けた取組みを進める。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-2	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事業名（目標）	地域の特徴を活かした学校づくり				

2 事業実施状況

恵まれた自然環境の中、イトウの保護を通じた環境学習や、過去の災害から学ぶ防災学習、町内の福祉施設や高齢者宅を訪問しボランティアを行うことで、奉仕の心や世代間交流について学習した。
また、道内公立高校で唯一の「カヌー部」や「カーリング部」は、全道・全国大会に出場し、貴重な体験と交流を深めている。

3 事務事業の評価

身近な環境を通し学習することで、郷土愛を育み、特色ある学校づくりに繋がっている。 また、部活動では、全道・全国大会出場を通し、大学進学等に繋がっている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

地域の人材や自然、産業など本町特有の教育資源を活用した学習活動を教育課程に位置付けし、より一層地域の特徴を活かした学校づくりを図っていく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-3	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事業名（目標）	補助や助成などの継続				

2 事業実施状況

生徒数の確保や保護者負担の軽減を図るため、町外から通学する生徒に対する通学費補助や在学中に使用する教科書購入費の全額補助、また南富良野中学校から入学する生徒に対して制服購入費の補助を行ってきた。

3 事務事業の評価

継続して実施してきている中で、生徒確保に繋がっている。	評価委員の意見	補助や助成などは保護者にとっては魅力がありますが、高校を選ぶ時の子どもたちに対して伝わる魅力があるとよい。				
	達成度	A	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

今後、生徒数が減少する傾向にあるが、引き続き補助及び助成を継続し、保護者負担の軽減と生徒数確保を図っていく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-4	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事業名（目標）	部活動における中高連携事業の充実				

2 事業実施状況

地元中学校からの志願者増に結び付くよう部活動における中高連携を図ってきた。
吹奏楽部については、合同練習を行うとともに、富良野地区吹奏楽祭において合同演奏を行った。
卓球部については、春休みに合同練習を行う予定であったが、コロナウィルス感染症拡大の影響により実施できなかった。

3 事務事業の評価

日程調整等難しい面があるが、合同練習等により、中高部活動の交流を深めることができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	C	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

部活の中高連携については、地元中学校からの志願者増となるよう、引き続き中学校と連携を図りながら、更なる連携が図られるよう取り組む。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-5	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
事業名（目標）	魅力づくりの推進、振興策や学校のあり方等の検証				

2 事業実施状況

魅力ある町立高校として様々な取組を実施してきた。今後の振興策や学校の在り方等を検討するため、プロジェクト検討会議で検討を継続してきた。

3 事務事業の評価

今年度のプロジェクト検討会議については、コロナウィルス感染症拡大の影響により中止となった。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	C	効果度	C	総合	C

4 今後の方向性及びその方策等

圏域的にも生徒数が減少していく中、生徒数確保を図っていくためにも様々な取組により魅力ある学校づくりを図っていく。これまでの取組の検証も含め、プロジェクト検討会議で引き続き検討をしていく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	5-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
事業名（目標）	体験活動の場の提供				

2 事業実施状況

参加希望者を募り、自然体験活動(川遊び・釣り等)を実施しました。
また、発表機会の提供として、従来より取り組んでいる少年の主張上川地区大会の参加支援を行いました。

3 事務事業の評価

各家庭や地域において、体験活動等の機会が減少している子ども達に、本町の豊かな自然環境に触れながら、様々な体験をする場の提供として成果が出てきています。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

子どもの頃の体験活動は、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、社会を生き抜く力として必要となる基礎的な能力を養う効果があり、特に自然体験や地域活動等の体験が豊富なほど、大人になってからの人間関係能力や意欲・関心といった資質・能力が高くなる傾向にありますので、子どもたちの未来を育むために継続して実施していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	5-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
事業名（目標）	本部町親善交流事業				

2 事業実施状況

令和元年6月24日から28日までの5日間、第29回「南の国の真夏に挑む体験の旅」として小学6年生全員と引率5名の18名が友好の町である沖縄県本部町を訪問し、令和2年1月27日から31日までの5日間、第29回「冬の北海道(南富良野町)体験の翼」として本部町児童16名と引率5名の21名の受入を行い、交流を深めました。

3 事務事業の評価

北海道と沖縄の異なる自然や生活文化に触れ、様々な体験等を通して、見聞を広め、豊かな心を育む事業として大きな成果をあげています。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

風土・歴史・生活文化の違い等を自ら体験して学ぶことは、貴重な経験であるとともに、長期間親元を離れて生活することで自立心が養われることから、今後も両町の産業振興を含め交流を深めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	5-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
事業名（目標）	小中学生の芸術鑑賞機会の提供				

2 事業実施状況

芸術鑑賞の機会として、札幌交響楽団による萬田記念財団協賛「札幌交響楽団公演」を実施した。
また、舞台芸術公演として、株式会社オフィス・フォルテによる「ダンスdeワンダーランド」を実施しました。

3 事務事業の評価

音楽を鑑賞することで、豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し大切にすることを養うことができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

芸術鑑賞は、豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し大切にすることを養うことができることから、今後も継続して舞台芸術等を鑑賞する機会を設けていきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	6-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	青年教育				
事業名（目標）	活動機会の提供				

2 事業実施状況

次代のまちづくりを担う世代が、自らの知識とスキルの向上を図り、職域を越えた青年同士のネットワーク形成のきっかけづくりの場として、What's up? Minamifuranoに取り組んでいます。
令和元年度より、町内事業所等の協力のもと、代表者による企画委員会において企画・運営を行っています。（4事業 延参加者人数88人）

3 事務事業の評価

普段交流する機会の少ない「青年層」へ交流活動の場を提供する有効な事業となっています。企画委員会を組織したことにより、今まで参加のなかった事業所等からの参加もありました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

幅広い職域を越えた交流促進が図られるようなイベント等を検討しながら、引き続きネットワーク形成の場を提供するとともに、各地域団体と連携し、社会教育事業の推進と自主的な活動支援に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	7-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
事業名（目標）	婦人団体と連携した活動支援				

2 事業実施状況

1日防災学校時の炊き出し、第29回「冬の北海道(南富良野町)体験の翼」の歓迎会及びスキー交流時の食事づくりへの協力等、社会教育事業の実施にあたり協力いただきました。
また、補助金を交付し団体の活動を支援しています。

3 事務事業の評価

社会教育を実施するにあたり、婦人団体は大きなマンパワーとなっています。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

引き続き連携した活動を行うことで、地域のマンパワーを活用し、社会教育事業の円滑な推進を図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	7-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
事業名（目標）	千里大学				

2 事業実施状況

高齢期における地域の仲間づくり、自己の特性・経験を活かし、生きがいや楽しみを求めて学習する場として、学習内容の充実や自主活動の推進に努めながら、学習計画に基づき授業展開を実施しました。（学生数33名）

3 事務事業の評価

自己の特性を活かした自主活動やクラブ活動の推進により、地域活動等(行事・慰問)へ参加する機会が増えたことは大きな成果です。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

高齢者の持つ豊かな生活体験や経験を次世代に伝えていくことは、きわめて重要であるため、発表機会の提供や授業内容の充実を図るとともに、新入学者の確保に努めながら、生きがいや楽しみを見出す場として事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	8-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事業名(目標)	主体的な文化活動の支援				

2 事業実施状況

住民の自主的活動として、「ココロとカラダを元気にする絵本とおはなし」「無添加クレイの歯磨き粉作り」「アイヌ文化に触れてみよう」の3つの事業が町民主体により実施されました。
住民の自主的活動に対する財政支援(住民自主企画支援事業)を行っています。

3 事務事業の評価

活動の活性化と文化活動の促進が図られました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

団体活動等の活性化と文化活動の促進を図るため、各関係機関と連携した取組を実施していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	8-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事業名(目標)	芸術文化に触れる機会の提供				

2 事業実施状況

全町民を対象とした芸術鑑賞の機会として、札幌交響楽団による萬田記念財団協賛「札幌交響楽団公演」を実施した。
小中学生を対象とした舞台芸術公演として、株式会社オフィス・フォルテによる「ダンスdeワンダーランド」を実施しました。

3 事務事業の評価

例年実施していました北海道舞台塾公演が終了したことにより、舞台芸術鑑賞の機会が減少しましたが、札幌交響楽団公演、舞台芸術公演を通して、芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの推進が図られました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

住民の芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの推進に向け、検討してまいります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	8-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
事業名（目標）	本に触れ合う機会の充実				

2 事業実施状況

図書館利用者からのリクエストを中心とした図書の購入や、ホームページや町広報誌による新刊図書の情報提供を行いました。また、巡回図書に取り組み、公民館図書室にある図書を各公民館分館へ巡回させることで、町民が本に触れ合う機会の充実に図りました。

夏季休業中に、北海道日本ハムファイターズが主導する「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーンを通して、小学生が本に触れ合う機会の充実に図りました。

3 事務事業の評価

新たな取り組みを始めましたが、事業が定着していないこともあり、参加者や利用が少ない状況にあります。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

図書室の新刊情報や実施事業の情報周知を行い、住民が本に触れ合う機会の充実に図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	9-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	公民館				
事業名（目標）	事業推進、教養向上及び健康増進				

2 事業実施状況

公民館本館事業として「防災教育講演会」を開催し、自分の命を守るための行動について学びました。

各公民館分館事業においては、地域の特性等を活かした公民館活動が実施されています。

3 事務事業の評価

公民館本館事業を実施し、町民の教養向上を推進することができました。 各地区において、地域の人材を活用しながら公民館分館事業が実施されています。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

公民館本館事業は、住民ニーズに応じたものを継続して取り組んでいきます。 公民館分館事業は、企画課で取り組んでいる地域支援と統合することで、より地域の特色を活かした活動ができるよう進めていきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	10-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
事業名（目標）	町の歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供				

2 事業実施状況

町の歴史的建造物を町広報誌において掲載することで、町民の理解を深めることができました。
また、史跡マップ及び町の歴史的建造物を町ホームページに掲載し、情報発信を行っています。

3 事務事業の評価

町広報誌やホームページを通して、歴史的建造物や史跡等を周知することができました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

より多くの方に知ってもらうため、町広報誌やホームページで継続的に周知していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	10-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
事業名（目標）	イトウによる環境学習				

2 事業実施状況

平成21年に制定したイトウ保護管理条例に基づき、イトウの分布及び生息状況の把握・環境保護等の他、小・中・高校生にイトウ及び本町の豊かな自然環境を知ってもらう取り組みとして、イトウの生態やその生息環境、そこに生息する他の生物について観察等を実施しました。

3 事務事業の評価

イトウの適正な保護管理が実施された他、町民共有の財産として次代に継承する取組の推進が図られました。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

イトウの適正な保護管理に努めながら、環境学習を通して児童等への生物や自然環境への興味・関心の向上を図るとともに、自然体験を通じて町民の自然災害に対する知識・適応力向上につながるよう事業展開します。 また、イトウの生息に象徴される本町の豊かな自然環境を保全し、かつ資源として活用することとの両立がなされるよう努めていきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	11-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
事業名(目標)	子ども朝活事業				

2 事業実施状況

生活習慣が乱れやすい長期休業中(夏休み・冬休み)の、規則正しい生活習慣のきっかけづくりとして、高校生や地域ボランティアの協力を得て、子ども朝活事業「南プ塾」を開催し、学習・運動・体験活動を実施しました。
(夏休み3日間 延参加人数146人・冬休み2日間 延参加人数75人)

3 事務事業の評価

規則正しい生活習慣及び体験活動機会の提供推進が図られました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

各関係協力機関や学校と連携し、実施内容等の充実に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	11-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
事業名(目標)	生活習慣を考える機会の提供				

2 事業実施状況

子ども朝活事業や学校における生活リズムチェックシートの活用により、規則正しい生活習慣のきっかけづくり推進しています。
就学児健診の空き時間を活用し、「ちょっと一息！雑談タイム」として、子育てに関する意見交換や新たな就学児童を持つ親としての心がけ、学校における生活等について、情報提供を行いました。

3 事務事業の評価

各家庭において規則正しい生活習慣について考える機会となりました。 親同士の交流の場を作ることで、各家庭における子育てや教育に対する取組の推進が図られました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

各関係協力機関や学校と連携し、実施内容等の充実に努めながら事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	12-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事業名(目標)	関係団体との協働				

2 事業実施状況

平成30年度より、体育スポーツの振興及びスポーツ関係団体の活動促進を図るため、社会体育事業の実施・運営について、町スポーツ協会加盟組織及び総合型地域スポーツクラブ「ゆっく」移管して取り組んでいます。
 内容:町民カヌー教室、町民登山、町民フロアカーリング大会(ゆっく)
 町民ソフトボール大会(軟式野球連盟)、町民ミニバレーボール大会(排球連盟)
 町民スキー教室(スキー連盟)

3 事務事業の評価

各団体が社会体育事業を運営することで、団体活動の活性化が図られた他、参加者が増えるなどの成果をあげている。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後も町内スポーツ関係団体と連携しながらスポーツ活動の振興に努めるとともに、ニュースポーツの取り組みについて検討していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	12-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事業名(目標)	アスリート補助金				

2 事業実施状況

子育て家庭世帯への経済的な支援と町民のスポーツ活動の振興を図るため、各種スポーツの全道・全国・国際大会等への出場に要する経費への財政的な支援を行いました。
 (H31・R元実績 4件・交付対象経費の80%を助成)

3 事務事業の評価

スポーツ活動の振興と子育て家庭世帯の経済的な負担軽減が図られました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

制度周知を行いながら、今後もスポーツ活動の振興と経済的な負担軽減を図るための取り組みとして、事業を継続していきます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	12-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
事業名(目標)	スポーツ少年団				

2 事業実施状況

町スポーツ少年団本部に4つの少年団が加盟し活動しています。町としては、補助金を交付し団体の活動を支援しています。
 また、教育委員会主催事業や各関係団体と連携した事業において少年団の種目に取り組むことで、興味や関心を持つきっかけとすることや少年団活動の底辺拡大を推進しました。
 (子ども朝活事業 バレーボール教室、子ども会スポーツ交流会 カーリング体験、町民スキー教室 スキー教室)

3 事務事業の評価

活発な少年団活動が展開されていることから、児童が競技に触れる機会を通して興味や関心を持つきっかけを作ることができました。	評価委員 の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

少年団活動の推進を図るため財政的な支援の継続と、加入児童の減少傾向を抑制するため、競技に触れることで、興味や関心を持つきっかけを作っていきます。また、指導に関する研修等を行い、指導者の育成を図ります。	方向性
	継続

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

前年度の点検・評価対象事務・事業のうち、今後の方向性で廃止、休止、完了とした事務・事業以外の当該年度における点検・評価の結果は次のとおりです。

(1) 当該年度点検・評価対象事務・事業

前年度点検・評価対象事務・事業名 (廃止、休止、完了事務・事業を除く)		前年度	当該 年度	備 考	
		総合 評価	総合 評価		
学 校 教 育					
1	確かな学力				
1 学力向上に向けた取組					
① 家庭学習の習慣化・一人学習ノートの取組み		—	A	新規	
② 個別補充学習による子に応じた指導の充実		—	A	新規	
③ メディア等に触れる時間のルールづくりの推進		—	B	新規	
④ ICT 機器活用や土曜授業の継続		A	A		
⑤ 習熟度別学習などのきめ細かな指導		—	A	新規	
⑥ 小中高連携の取組を推進		A	A		
2 教師力向上					
① 授業力向上に向けた講習会の開催		A	A		
② 道内モデル校への視察研修		A	A		
③ 指導力向上のための研鑽		A	A		
3 中学生への英語・数学・漢字検定に対する支援		—	A	新規	
4 複式学級におけるきめ細かな指導		—	A	新規	
5 工夫された読書活動		A	A		
2	豊かな心と健やかな体				
1 体力づくりの充実		B	A		
2 運動習慣づくり		B	A		
3 ネットモラルの指導徹底		A	B		
4 スクールカウンセラーによる支援継続		—	A	新規	
5 いじめ根絶に向けた取組		A	B		
3	信頼される学校				
1 地域とともにある学校づくり		A	A		
2 避難訓練などの計画的な実施		A	A		

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

	3 交通安全や防犯意識の向上	A	A	
	4 北海道と連携した「1 日防災学校」の実施	A	A	
	5 学校体育館非構造物部材の改修	—	A	新規
	6 安全で安心な給食	A	A	
高 等 学 校 教 育				
4	高等教育			
	1 進路に応じた教育活動の実践	A	A	
	2 地域の特色を活かした学校づくり	—	A	新規
	3 補助や助成などの継続	A	B	
	4 部活動における中高連携事業の充実	A	B	
	5 魅力づくりの推進、振興策や学校のあり方等の検証	B	C	
生 涯 学 習				
5	少年教育			
	1 体験活動の場の提供	B	B	
	2 本部町親善交流事業	A	A	
	3 小中学生の芸術鑑賞機会の提供	A	A	
6	青年教育			
	1 活動機会の提供	—	B	新規
7	成年教育			
	1 婦人団体と連携した取組と活動支援	A	A	
	2 千里大学	A	A	
8	芸術文化			
	1 主体的な文化活動の支援	A	A	
	2 芸術文化に触れる機会の提供	A	A	
	3 本にふれあう機会の充実	—	B	新規
8	公民館活動			
	1 事業推進、教養向上及び健康増進	A	A	
9	文化財			
	1 町による歴史的建造物や文化遺産を知る機会の提供	A	A	
	2 イトウによる環境学習	A	A	

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

11	家庭教育			
	1 子ども朝活事業	A	A	
	2 生活習慣を考える機会の提供	—	A	新規
12	体育スポーツの振興			
	1 関係団体との協働	A	A	
	2 アスリート補助金	A	A	
	3 スポーツ少年団	A	A	

(2) 当該年度点検・評価対象事務・事業について

令和元年度における事務・事業点検評価項目は45事務事業で、前年度においても点検・評価対象とした事務事業は33事務事業、新規項目は12事務事業でありました。

前年度総合評価で「A」と評価した29事務事業のうち、当該年度においても「A」評価とした項目は25事務事業、「B」評価としたものは4事務事業となっています。

又、前年度「B」と評価した4事務事業のうち、当該年度「A」評価が2事務事業、「B」評価が1事務事業、「C」評価が1事務事業という結果でありました。

今年度新たに評価対象とした12事務事業については、「A」評価が9事務事業、「B」評価が3事務事業となっています。

10 学識経験者

令和元年度教育委員会事務の管理及び執行の状況における点検・評価の方法や結果等について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者として南富良野町教育委員会教育行政評価委員から意見等を聴取し、知見の活用を図っています。

1. 南富良野町教育委員会教育行政評価委員

氏 名	職 業 等
上 坂 利 江	団体臨時職員(保育士資格保有)
小 林 弘 幸	農業(社会教育主事資格保有)

2. 意見聴取日等

日 時	場 所
令 和 2 年 8 月 2 0 日	新型コロナウイルス感染防止の観点上 書面会議として実施
令 和 2 年 9 月 4 日	

3. 意見の内容

(1) 各事務・事業ごとの点検・評価に関することについて

各評価委員から点検・評価に対し出された意見の内容については、「9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果(評価シート)」に記載しています。

11 教育委員会の組織

1 教育委員会委員（令和元年度在籍者）

職 名	氏 名	任 期	保護者	備 考
教育長	岩渕 秀一	令和元年 11 月 16 日～ 令和 4 年 11 月 15 日		第 2 期目
教育長 代 理	河野 高好	平成 30 年 10 月 1 日～ 令和 4 年 9 月 30 日		第 4 期目
委 員	大神 裕全	令和元年 10 月 1 日～ 令和 5 年 9 月 30 日	○	第 2 期目
委 員	柴田 昭江	平成 28 年 11 月 16 日～ 令和 2 年 11 月 15 日		第 1 期目
委 員	金村 萌絵	平成 29 年 10 月 1 日～ 令和 3 年 9 月 30 日	○	第 1 期目

2 事務局組織（令和元年度現在）

